

「地域おこし協力隊」とは…

過疎や高齢化の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、地域での生活や地域社会貢献に意欲のある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。



きはら あおい
木原 葵 さん

Profile / 1996年生まれ。東京都八王子市出身。大学在学中に気仙沼を何度も訪れたことがきっかけで気仙沼の事が好きになり、今年の5月に気仙沼へ移住。現在は地域おこし協力隊として、「気仙沼ゲストハウス架け橋」を拠点にNPO法人「Cloud JAPAN」が行う、ふるさとワーキングホリデー（※）の運営業務を担当している。

※ふるさとワーキングホリデー…

都市に暮らす若い人達が、一定の期間、地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域の人達との交流の場や学びの場などを通して、通常の旅行では味わえない、地域を丸ごと体感してもらい、地域との関わりを深めてもらおうという取り組み。

—これまでの経歴、移住のきっかけは

東京の大学に通っていた大学2年生の時に東日本大震災の被災地を自分自身で見てみたいと思い、岩手県から南下しながら被災地を巡りました。その時途中で泊まったのが現在の活動拠点の「気仙沼ゲストハウス架け橋」でした。その後も気仙沼へは復興・創生インターンシップ事業で訪れたり、大学を1年休学した際にインターンシップで約8か月滞在するなど何度も来るようになっていました。気仙沼は自分を認めてくれる人がたくさんいて、自分にとって居心地が良く、安心できる場所になっていました。そして今度は自分がそういった場づくりをしてみたいと思うようになり、地域おこし協力隊として、気仙沼に移住することになりました。

—現在の生活の様子や活動は

現在はゲストハウス架け橋の近くにあるシェアハウスで暮らしています。近所の方から野菜をいただいたりすることもあります。架け橋には幅広い年代の方が来てくれるので、楽しく交流しています。

主な活動としてはNPO法人「Cloud JAPAN」が行う、ふるさとワーキングホリデーの運営を担当しています。また、ゲストハウス架け橋の接客等もしています。ふるさとワーキングホリデーでは、20代の方が多く来ていて、気仙沼の暮らしを体験しています。

—気仙沼の魅力や地域に対する思いは

外地域の人を受け入れる文化があること、人と人の距離が近いことが魅力だと思います。地域全体で挑戦する人を応援してくれる文化も気仙沼ならではの魅力だと思います。様々な個性を活かしながら、地域全体で仕事をしている感覚があります。

—今後について/皆さんに伝えたいこと

今後は「しんどい」「生きづらい」と思っている人達のために安心できる場づくりをしていきたいです。

また、ふるさとワーキングホリデーを通じて、関係人口や移住者の増加に繋がれば良いなと思っています。



▲ゲストハウス架け橋の仲間たちと

気仙沼市での「地域おこし協力隊」受入実績

受入人数：23人（平成28年10月から令和3年8月まで、現在活動中の方を含む）

※上記のうち、現在活動中の地域おこし協力隊：12人

主な受入先：市内の一般社団法人、協議会、農事組合法人、エネルギー会社など



みなかわ たろう
皆川 太郎 さん

Profile / 1997年生まれ。山形県山形市出身。大学2年生の時に現在所属している「ペンシー」にインターンシップで来たこともあり、今年2月に気仙沼へ移住。現在は地域おこし協力隊として、一般社団法人「ペンシー」でデザイン教育事業に携わっている。

—さらにひとこと—



山形の実家がお茶屋ということもあり、「お茶」を使った、場づくりをしたいと思っています！



お茶を飲みながら、人との会話を通じて、新しいアイデアが生まれるようなコミュニティツールになっていければいいなと思っています。

—これまでの経歴、移住のきっかけは

東北芸術工科大学のデザイン工学部コミュニティデザイン学科に入学し、ソフト面の「人」を繋いでいくまちづくりについて学びました。大学の授業でデザイナーという職業を知りました。大学の授業の中で文字を整えたり、相手に伝えるための配置を考えたりすることが楽しいと思うようになり、のめり込んでいきました。そして大学2年生の時には現在所属している「ペンシー」にインターンシップで来ることになり、そこで行われていた、デザインや地域教育事業に感銘を受けました。大学卒業後は仙台で一般企業に就職しました。その後転職したいと思い、転職先を探していたところ、気仙沼で地域おこし協力隊の募集があることを知って応募し、気仙沼に移住することになりました。

—現在の生活の様子や活動は

現在は市内のアパートで暮らしています。

主な活動としてはデザイン教育事業に携わっています。地域の子供達に「誰でも絵を描けるんだよ」ということを伝えるための活動を行い、子供達の将来の選択肢を増やしていくためのサポートをしています。ワークショップのデザイン（企画や広報）もしています。

—気仙沼の魅力や地域に対する思いは

面白い人やイベントに呼んでくれるなど自分を引きずり込んでくれる人がたくさんいることが魅力だと思います。そして魚が美味しい、美味しいお店が多いのも魅力だと思います。気仙沼には若者を応援してくれる人が多くいて、応援してくれる機会もあるのでそういった良さをさらにアピールしてほしいと思います。

—今後について/皆さんに伝えたいこと

デザインワークショップを今後開催していく予定なので、多くの方に来てほしいと思っています。また、地域の方ともたくさん話したいと思っています。多くの人と関わって気仙沼にアウトプットしていきたいです。僕を見かけた際はぜひお声がけください！



▲地域の学校に出向くこともあります